

11/12

## まちの活気を凝縮! これが私たちのまち

第13回いきいき商工農フェスタ

商業・工業・農業者が特産品などさまざまなブースを出店する「いきいき商工農フェスタ」が上古賀グラウンドで開催されました。

ステージではマグロ解体ショーや司会の山本 華世さんの軽快なトークで盛り上がり、新たに設けた「ちくしの屋台市」では飲食や雑貨などのほか、九州北部豪雨災害復興支援ブースとして朝倉市、東峰村の商工会からも出店しました。恒例の餅まき・あめまき、抽選会も大盛況で、多くの人が商工農とのふれあいを楽しんでいました。



秋晴れの下、多くの人でにぎわいました

11/14

## 「生きる力」を育てる

齊田 成人さん社会教育功労者表彰受賞報告

11月7日に行われた社会教育功労者表彰にて、元社会教育委員の齊田 成人さんが表彰を受け、この日藤田市長に報告しました。この表彰は多年にわたり社会教育の振興に功労があった人の功績をたたえ、文部科学大臣が表彰するものであり、齊田さんは10年1カ月にわたり市の社会教育委員として尽力しました。

現在でも山家通学合宿など、地域での体験活動を通して青少年の育成を行う齊田さんは社会教育の重要性を語ってくれました。



11/6

## 地域で技術を向上 法人設立5年で県知事賞受賞!

三水うまいち福岡県麦作共励会表彰報告

市内西小田の農事組合法人三水うまいちが平成29年度福岡県麦作共励会の集団の部で福岡県知事賞(最優秀賞)を受賞したため、藤田市長に報告しました。

馬市集落の17人の組合員で構成する三水うまいちは土作りや排水対策に力を入れ、10アール当たりの収量は、作付けする小麦(チクゴイズミ)、裸麦(イチバンボシ)ともに、県の平均を大きく上回ります。

代表理事の榎木 明さんは「県知事賞の名に恥じぬよう一致団結して作付けに励みます」と話していました。



藤田市長と一緒に表彰状を持つ榎木代表理事と、組合員の皆さん

11/8

## 「人を助けたい」を 行動に移す勇気をもつ

平成29年度筑紫地区少年愛護連盟善行者表彰式

標記の表彰式がミリカローデン那珂川で開催され、筑紫野市からは3人が選ばれ表彰されました。原田小5年生の鶴川 珠梨さんと平瀬 心結さんは、店のごみが散らかっているのを見て、いったん家に帰り、ごみ袋を持ってきて片付け、家に持って帰ったこと。二日市東小5年生の兼山 晋さんは、道に迷っていた高齢者に声をかけ、近くの公民館まで案内し、公民館の人に助けを求めました。見て見ぬふりをせず、勇気をもって行動したことは大変素晴らしいことです。おめでとうございます。



(左から)原田小の鶴川さん・平瀬さん、二日市東小の兼山さん

## ちくしのクリップ

11/18

子どもから大人まで  
絵本の世界を満喫

「はらっぱの会」設立10周年記念講演会

絵本作家の真珠 まりこさんによる講演は、たくさんの絵本の読み聞かせや絵描き歌、絵本のテーマである「もったいない」に込めた思いなどのお話もありました。最後に「もったいないばあさん音頭」をみんなで踊り、満席の会場はたくさんの笑顔に包まれていました。

「筑紫南コミセン図書室の管理運営を受託して今年で10年目、それぞれができることをできる形でやってきました。これからも楽しみながら次につなげていけたら」と同会代表の矢羽田さんは話してくれました。



みんなで「おべんとうバス」も歌いました

11/19

## 筑紫野市を背負っての激走

第4回市町村対抗福岡駅伝

福岡県内60市町村が競い合う、第4回市町村対抗「福岡駅伝」が、福岡県営筑後広域公園で開催されました。30.1キロメートルを、中学生からシニア（40歳以上）それぞれから選抜された選手9人が、郷土の誇りと期待を背負って走り抜けました。

筑紫野市チームは、選手1人1人が全力を出し切り、8位の成績を収めました。また、第4区を走った山下花音さんが区間賞を獲得するなど、選手の頑張りで筑紫野市の名前を県下にとどろかせてくれました。



大勢の人の声援を力に変えて力走する筑紫野市チーム

11/16

万が一に備え、  
通行車の安全を守る

冷水トンネル非常用設備完成式・防災訓練

一般国道200号冷水トンネルの交通量増加に対応するため、福岡県ではトンネル内の非常用設備の新設、現有設備更新の工事を進めてきました。これらの工事完成により、市内山家の冷水トンネル付近にて福岡県那珂県土整備事務所主催で完成式が行われ、山家コミュニティ運営協議会をはじめ筑紫野市・飯塚市の関係者などが出席しました。完成式の後は、消防・警察・県による「トンネル防災訓練」が行われ、事故発生時の対応と連携について確認を行いました。



連携して救助に当たる筑紫野消防署の特別救助隊

11/18

## つなぐ ひと・水・未来

筑紫野市水道事業開始60周年記念式典

昭和32年に始まった筑紫野市の水道事業は、今年60周年を迎えました。市はこの日、生涯学習センターで記念式典を行い、来賓のほか、水利組合、コミュニティ運営協議会などから出席がありました。式では、長年にわたり水道の安定供給に貢献した筑紫野市管工事協同組合の皆さんに藤田市長が感謝状を贈呈しました。

また、朝倉市職員の恒吉 徹さんが記念講演を行い、市も恩恵を受けている筑後川の水資源開発の説明に、出席者は興味深く耳を傾けていました。



筑紫野市管工事協同組合の皆さんに感謝状を贈呈しました